

日本工業大学特別講演

認知症の人も当たり前に出出できる まちづくり — パブリックトイレの研究 —



日時: 10月14日(月・祝)
14時00分~15時30分

入場無料

場所: 宮代町立図書館 ホール

講師: 野口 祐子氏

日本工業大学 建築学部建築学科 生活環境デザインコース 教授



今年発表された認知症患者の有病率の将来推計によると、2030年には高齢者の約14%が認知症で、さらに軽度認知障害を加えると3割になるといわれています。それにも関わらず、まちづくり、特にハード面の環境は認知症の方に配慮したものは言えません。

まちのトイレについては、「水を流そうと思って非常ボタンを押してしまった」、「鍵が開けられなくなった」など認知症の方の不便や不安を感じる声は少なくなく、トイレの後に行方不明になったという深刻なトラブルも発生しています。駅やデパート、公共施設など、まちの中のトイレが問題なく使えるかどうか、認知症の方の外出を左右します。

認知症の方に配慮したパブリックトイレの空間や設備に関する研究とその実践について紹介します。

講師紹介

障害のある人の障害特性に合わせた住環境デザイン、認知症高齢者のための空間デザインに関する調査研究、高齢者・障害者の避難所、仮設住宅における環境整備。

埼玉県国土利用計画審議会委員、埼玉県建築士審査会委員、さいたま市福祉のまちづくり推進協議会副会長、同バリアフリー部会委員、宮代町社会福祉協議会理事。

主催: 宮代町立図書館 0480-34-9944